



かもすい通信

2025 秋号

Contents

- 館長のこぼなし
- News Topics
 - ニューフェイスなクラゲたち
 - 『教員のための博物館の日 2025 in 鶴岡市立加茂水族館』 & 特別ワークショップ開催
 - リニューアル情報 ~ 引越しに奔走中 ~
 - クラゲ採集に行ってきました
 - 推しの生きものたち
 - 海ごみを考える日 2025
 - 源流の森 出前教室
 - 三園館連携事業の取り組み
 - 北里大学へ水族館 PR へ行ってきました
 - 釣り採集日誌
- できごと
- インフォメーション



フクロクジュクラゲ (稚クラゲ)
Alatina alata

photo: Murai Takashi



チリメンクラゲ
Versuriga anadyomene
photo: Tamada Ryota



インテグラルクラゲ
Orchistoma integrale

photo: Tamada Ryota

館長のこぼなし 新棟が完成したぞ！

いよいよ待ちに待った新棟が完成した。8月上旬に引き渡しされ、飼育生物や機材の引越が始まり飼育員は大忙し。がらんとしたレクチャールームとクラゲ研究所を見て「あっという間だったな」と思わず口に出た。思い起こせば、旧館時代に世界一のクラゲ展示種類数を実現するためクラゲ研究所を作ったのが2005年。二代目は新館オープンの2014年。そして、三代目は2025年。ほぼ10年ごとに新しい研究所を建てたことになる。研究所の進化が加茂水族館のクラゲ展示種類数世界一を支えてきた。バックヤードツアーでお見せする日が待ち遠しい。(奥泉)

News Topics

ニューフェイスなクラゲたち

世界初展示や加茂水族館でしか見れないクラゲの展示がはじまりましたのでそのクラゲたちを紹介をします。

◎世界初！フクロクジュクラゲの繁殖個体の展示

7月2日にフクロクジュクラゲの繁殖個体を世界で初めて展示しました。今回は新江ノ島水族館、九十九島水族館海きらら、福山大学マリンバイオセンター水族館とともに、4館同時展示を行いました。今回、福山大学内海生物資源研究所のタツノオトシゴ類飼育水槽のろ過循環システム内で、本種のクラゲの生活史の一段階である“ポリプ”が、日本国内で初めて発見されました。発見されたポリプがどこからやってきたのかは不明のままです。このように水族館や研究施設の水槽内では、稀に別の生物が突然出現して発見されることもあります。現在展示しているのはポリプから繁殖した稚クラゲです。稚クラゲは成熟クラゲとは異なり、傘は球状で刺胞塊が外傘全体にわたって密に分布します。今後は成熟サイズを目指してより大きく展示飼育していきたいと考えております。(池田)



学名

Alatina alata

◎チリメンクラゲ、国内で2番目の展示



学名

Versuriga anadyomene

黒潮生物研究所と沖縄美ら海水族館が6月18日に^{ちりめん}*Versuriga anadyomene*というクラゲにチリメンクラゲと命名しました。日本の伝統的な縮緬に例えられる美しい色彩をもつことからこの和名がつけられました。チリメンクラゲは東南アジアやオーストラリア、パラオなどに生息し、2022年に沖縄で採集された個体を沖縄美ら海水族館が展示した個体が日本初記録となります。私達はこのチリメンクラゲをタイで採集して繁殖に成功しました。展示しているのは繁殖個体でまだまだ小さいですが、いつか大きく育てたクラゲお見せしたいです。また、本種の詳しい飼育手法や繁殖手法については、現在論文執筆中です。(池田)

◎世界初！インテグラルクラゲの展示

9月22日にインテグラルクラゲを世界で初めて展示しました！黒潮生物研究所の協力のもと、加茂水族館と長崎ペンギン水族館の2館同時展示を行いました。インテグラルクラゲは2025年に新種発表されたクラゲで生殖腺が積分記号のインテグラル(∫)に似ていることが特徴です。私達はこれまでの調査でこのクラゲが長崎ペンギン水族館近くの海域で出現することが分かっていたので、世界初展示を目指して長崎まで稚クラゲを採集しにきました。そのクラゲを育成したものを展示しました。加茂水族館ではポリプを取るところまでは成功しましたが、クラゲの遊離条件はまだ分からず試行錯誤しながら飼育をしています。いつでもこのクラゲを見れる様に繁殖手法を確立していきたいです。(玉田)



学名

Orchistoma integrale

『教員のための博物館の日 2025 in 鶴岡市立加茂水族館』開催

「教員のための博物館の日」は、学校の先生に「博物館に親しみを持ってもらうこと」、「博物館の学習資源を知ってもらうこと」を目的として2008年に国立科学博物館が始めた事業です。子どもたちに科学の不思議さ、楽しさ、学ぶ喜びを感じてもらうために、まずはその教育を担う先生方に是非博物館を楽しんでいただきたいという思いで全国の博物館で開催されています。

8月1日に山形県内で初開催となるこの会を『教員のための博物館の日 2025 in 鶴岡市立加茂水族館』と題して開催しました。参加者は、6都県から26名（山形14名、東京4名、宮城3名、新潟2名、埼玉2名、福井1名）、学校種別では高校9、中学6、小学5、幼保2、特支2、教育委員会1、その他教育機関1名の参加者でした。

参加者アンケートでは、大半がこの会に「満足」であり、「また参加したい」との回答でしたので、来年以降も開催することを検討したいと思います。（里見）



▲ 学習会体験会の部。

デジタル顕微鏡で小さなクラゲを観察中!!

特別ワークショップ（WS）『二枚貝のひみつを知ろう！アサリの消しゴムハンコでバッグ作り』開催



8月2日には、上記イベントの特別講演講師の大阪自然史センター 西澤真樹子さんが講師の『特別WS：二枚貝のひみつを知ろう！アサリの消しゴムハンコでバッグ作り』を開催し、応募者数は9組25名とこちらも大賑わいでした。遠方からわざわざお越しいただいた方も多く、大変うれしく思いました。（里見）

◀ アサリを解剖したり、アサリの一生などを学びました

加茂水族館リニューアル情報 引越しに奔走中

8月に新棟が完成し、約10年使用した繁殖室とレクチャールームに別れを告げる日がやって来ました。繁殖室にいた小さなクラゲやポリプたちを、新棟3階の新繁殖室へ大急ぎかつ丁寧に引越しです。出勤していたクラゲチーム全員が右往左往し、何とか引越しを終えました。生き物たちは順調に引越しできましたが、問題はその他の「モノ」たちでした。約10年かけてため込んだものをとりあえず運んだり仕分けたり捨てたり捨てたり捨てたり…。新棟は広いのでポリプやクラゲが増えても余裕です！が、余計なモノは増やさないように…できるかな？（佐藤）



▲ その他の「モノ」たち



▲ 作業前の繁殖室



▲ 作業終盤の繁殖室

Let's go to the jellyfish research!!

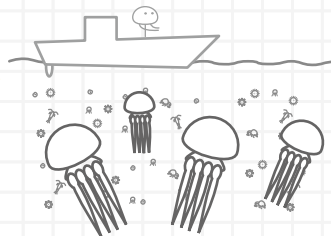
クラゲ採集に行ってきました

加茂水族館ではクラゲの展示をより充実させるために定期的な調査を行っています。

～クラゲ調査で訪れた地点～

2025年7月 北海道・佐賀県 8月 長崎県 9月 宮城県

今回もさまざまな方に協力していただきクラゲ調査を行うことができました。
この場を借りて御礼申し上げます。



北海道



日時：2025年7月11日～7月13日

採集方法：胴長を着て手で採集 水温：19～22℃

データ

7月11日から13日にかけて北海道へクラゲ採集に行ってきました。今回はアサガオクラゲを展示するため、室蘭民報みんなの水族館さんに協力していただき採集をしてきました。クラゲというと水中をふわふわと漂うイメージがありますが、アサガオクラゲは異なり海藻などに付着して生活しています。なので胴長を着て腰あたりまで海に入りアマモなどを手でかき分けながら探していきます。初めは見つけにくいですが目が慣れてくるとすぐに見分けることができ、あっという間に展示するに十分な数を採集することができました。アサガオクラゲは長期で飼育することが難しく、今回も長い期間の飼育はできませんでした。

また、繁殖もあまり成功していない種類です。当館では繁殖にも力を入れて水族館生まれのアサガオクラゲを展示できるように努めています。(玉田)

アマモに着いたアサガオクラゲ ▲



▲ 採集の様子



▲ 採集のために作った秘密兵器！
スムーズな採集ができました♪

佐賀県



2025年7月22日から25日にかけて佐賀県の有明海に行き、漁師さんのクラゲ漁に同行させていただきました。

狙いは食用クラゲであるアリアケビゼンクラゲ。昨年スタッフが伺ったときはクラゲが採れなかったということで不安もありましたが、今年は超大漁！

傘径50cmはありそうなクラゲが次から次へとあがってきました。漁師さんが獲ってくれたクラゲから生殖腺だけを頂戴し、受精卵からポリプの獲得を目指します。有明水産振興センターさんのご厚意で実験室を貸していただき、受精卵およびプラヌラを確認することができました。その後、水族館に搬入したプラヌラから数個体ではありますがポリプを獲得できました。これからうまく育ってくれることを祈りつつお世話していこうと思います。(久保)

日時：2025年7月22日～7月25日

採集方法：クラゲ漁に同行 水温：27～28℃

データ



▲ 展示中のアリアケビゼンクラゲ (傘径5cm)



▲ クラゲ漁の様子

長崎県



8月22日から25日にかけて長崎県ヘクラゲ採集に行ってきました。

インテグラルクラゲの世界初展示を目的に長崎ペンギン水族館さんに協力していただき採集を行いました（p.2 参照）。それ以外に今回は日中に地元の漁師さんに船を出してもらい、夜間は灯火採集を行いクラゲを採集しました。

夏の時期はあまり多くの種類のクラゲは見つからないことがあったと思っていましたが、今回は25種類以上のクラゲを採集することができました。この調査ではインテグラルクラゲ以外にゴトウクラゲやハッポウヤワラクラゲなどの珍しいクラゲや、これまでに見たことのない密度のカブトクラゲなどを見ることができました。

ポリプが取れそうな種類は繁殖を目指した飼育を行い、当館でも飼育例がありませんなクラゲは飼育条件を探りました。調査を継続して様々なクラゲをみなさんに見てもらえるようにしていきたいです。（玉田）



▲ 乗船採集の様子



野生のユウレイクラゲに圧巻です ▲



▲ 端島（軍艦島）周辺でも採集しました

データ

日時：2025年8月22日～8月25日

採集方法：漁港でプランクトンネット・灯火採集、乗船採集 水温：29～30℃

▼ 調査で確認できたクラゲたち



インテグラルクラゲ ニホンベニクラゲ ギンカクラゲ（ポリプ） アカダマカブトクラゲ ゴトウクラゲ カタアシクラゲ

宮城県



日時：2025年9月7日～9月12日

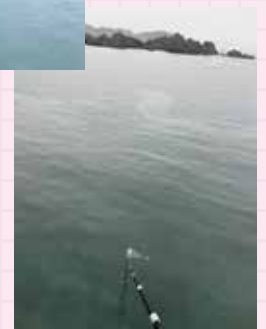
採集方法：漁港でプランクトンネット採集 水温：20～21℃

データ

クラゲ採集と学会参加のため、宮城県に行ってきました。

採集は宮城教育大学の出口竜作教授ならびに研究室の学生の皆様にご協力いただき、女川町の漁港を巡りました。小型のヒドロクラゲやポリプを中心に様々な種類のクラゲを採集することができ、さらに貴重なクラゲやポリプを分けていただくなど大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。

その後は仙台で開催されたベントス学会・プランクトン学会合同大会に参加。クラゲの研究に関する発表もいくつかあり、多くの知見を得ることができたほか、同行した村井は小型クラゲの撮影方法についてポスター発表を行いました。研究者や学生の方々との交流もあり、とても有意義な経験となりました。（金島）



▲ クラゲ採集の様子



推しの生きものたち

01 好ま

ナンヨウタコクラゲ



学名

Phyllorhiza punctata

英名

Australian spotted jellyfish

ヒョコヒョコ動きまわる、可愛いクラゲです。ユーモラスなまんまるの姿は、水風船かゴマ団子のよう。特徴的な点々の模様は、このクラゲの学名にも反映されています（プンクタータは点々の意味）。光合成を行う褐虫藻という藻類を体内に住まわせ、作り出された栄養を利用する、珍しい生態を見せます。（山口）

02 推し

アオリイカ



学名

Sepioteuthis lessoniana

英名

Bigfin reef squid

山形では9月頃からアオリイカを狙う釣り人たちが賑わいます。当館でも船で採集へ行き展示を行います。採集してすぐは体長15cmほどでピョコピョコと可愛いですが、成長すると2倍以上に大きくなり、餌を捕まえに行く姿は迫力があります。また、イカの中でも特に墨の量が多いのですが、その墨を使った展示も行っています。（香焼）

03 好ま

トガリテマリクラゲ



学名

Mertensia ovum

英名

Sea nut,
Arctic sea gooseberry

トガリテマリクラゲは、寒い海にみられるクラゲです。私がこのクラゲを知ってまず思ったことは、「尖った手まり」ってどこにあるの？ということ。実は体の先がそんなに尖ってない「テマリクラゲ」達が存在するんです（残念ながら現在展示していません）。刺胞細胞を持たず、毒針で餌を捕まえられる代わりに、粘り気のある触手をハエ取り紙のように使って餌をとらえます。（本間）

04 推し

ゴマフアザラシ（ももこ）



学名

Phoca largha

英名

Spotted seal

愛称

ももこ

性別

メス

生年月日

2016年3月28日（9歳）

数々の募集の中から、国民的アニメ「ちびまる子ちゃん」の作者「さくらももこ」さんにちなんで沢山の方に愛されるように「ももこ」と命名しました。「ひれあしの時間」ではかわいらしさをふりまきながらゴマフアザラシの特徴や生態について紹介しています。全体的に体が灰色で白目が良く見え、目がパッチリなところが特徴です。ぜひ、会いに来てね！（樋口）

山形の海洋ごみを考える日 2025

海ごみ問題啓発イベント「山形の海洋ごみを考える日 2025」が7月19日に開催されました。このイベントは令和元年より、由良などを会場として開催されてきましたが、今年からは実行委員会が発足し、加茂水族館もその一員として加わっています。イベント当日は、加茂水族館・渚の交番カモンマーレの2会場を中心として、水族館屋上広場で海ごみを使ったワークショップや海岸でのビーチコーミング体験、海ごみ研究に関するパネル展示等、様々なイベント・出展が行われました。当日は非常に暑く、屋外ブースに訪れる方はまばらでしたが、参加された方には、海ごみ問題について楽しみながら学んでいただけたかと思います。(後藤)



▲ 屋上ワークショップブース



▲ ワークショップ風景

源流の森 出前教室

8月3日に源流の森出前教室が加茂水族館レクチャールームで開催されました！！令和4年に海と森の協定を結んでから交流事業として行われています。今年も葉っぱや森の素材でしおりを作るクラフト体験、粘土で魚型の小皿やクラゲ型の風鈴を作る陶芸教室が開催され、事前申込み以外にも当日受付も行いましたが、両教室とも満員御礼の大盛況ぶりでした！ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。また、両施設のボランティアの交流事業として加茂水族館ボランティアガイド岩ゆりによるバックヤードツアーも行いました。山と海、離れているようで繋がり合う自然のように今後も交流を続けていけたらと思います。(廣瀬)



▲ 1日中賑わっていました



クラフト体験「葉っぱでつくるお魚しおり」▲

\\ 7月17日 //

三園館連携事業の取り組み



7月に大森山動物園と男鹿水族館 GAO と共に、秋田県の小学校へ出前授業に行ってきました。全8ブースを各園館で振り分け、生き物や骨を観察したり講義をしたり盛り沢山の内容でしたが児童の皆さんも興味を持ってくださっていました。中々ない機会ですスタッフも勉強になることが多かったです。(廣瀬)

\\ 8月2日 //

北里大学へ水族館 PR に行ってきました



北里大学海洋生命科学部オープンキャンパスの卒業生紹介ブースに出展しました。いくつかの水族館が参加しており、館長と卒業生の私でクラゲを展示しながら水族館 PR を行いました。ブース出展以外にも講話をしてきました。(玉田)

釣り採集日誌 ～アオリイカ～



▲ 大洗水族館の輸送トラック

今年も8月下旬～9月上旬にかけて、恒例のアオリイカ釣りに行ってきました。
しかし、今年は天候や海況に恵まれず、思うように採集に出られないことも。
庄内沿岸のアオリイカ釣果もあまり良くないようで、数を集めるのが大変でした。
ちなみに今回は、いつも生物や情報のやり取りでお世話になっている茨城県の
アクアワールド茨城県大洗水族館よりスタッフが来訪し、一緒に採集を行いました。
残念ながら、渋い状況下でアオリイカは釣れませんでした。当館で事前に
集めていた個体と、代わりに釣れたアカカマスをお渡しすることができまし
た。(後藤)



▲ アオリイカ

できごと (2025年7月～9月)

● 調査・研究 ● 教育普及 ● イベント ● 売店 ● レストラン ● その他

- 7月1日 ● 第5弾 庄内まちナビカード 配布 (～2026年6月30日)
- 「海の羽根」募金運動 (～7月31日)
- フクロクジクラゲ繁殖個体世界初展示開始
- クラゲ学習会 25名参加
- 7月2日 ● クラゲドリームシアター前に笹竹を設置 (～7月7日)
- 7月3日 ● クラゲ学習会 25名参加
- 7月4日 ● 庄内砂丘メロンPR (～7月14日)
- 7月6日 ● わくわくクラゲサイエンス 10名参加
- 第2回夜空を泳ぐクラゲの傘フォトコンテスト (～10月31日)
- 庄内アンデスメロンミニパフェ 販売開始 (～9月1日)
- 7月9日 ● 日本大学にて講演
- 7月11日 ● 北海道ヘクラゲ採集 (～7月13日)
- アクアマリンふくしま 25周年・新施設オープン式典
FIGHT! IPR イベントに参加 (～7月12日)
- 7月12日 ● 第69回 音楽のタベ「itayoN' erij」出演
- やまがたみなとオアシススタンプラリー (～10月13日)
- 鶴岡天神鯉御膳 販売開始 (～9月30日)
- 7月17日 ● 三園館連携出前授業
- 7月19日 ● 山形の海洋ごみを考える日 2025
- 7月22日 ● 佐賀県(有明海)ヘクラゲ調査 (～7月25日)
- 7月27日 ● クラゲ自由研究相談会
- 「アクアリウムは踊らない」コラボ企画 第1弾
- 7月30日 ● 海響館視察・越前松島水族館へ研修 (～8月1日)
- クラゲ学習会 平田学童保育所 36名参加
- 7月31日 ● クラゲ学習会 上山市東地区公民館 15名参加
- クラゲ学習会 慶應サマーバイオカレッジ 2025 24名参加

- 8月1日 ● 「明るいやまがた夏の安全県民運動」交通事故防止啓発活動
- 教員のための博物館の日 2025 in 鶴岡市立加茂水族館 26名参加
- エコバッグ(クラゲ・アザラシ) 販売開始
- クラゲゼリー販売開始 (～8月31日)
- 8月2日 ● 北里大学オープンキャンパスでPR・講演 (～8月3日)
- ニ枚貝のひみつを知らう! アサリの消しゴムハンコでバッグ作り 25名参加
- 8月3日 ● 源流の森 出前教室
- 8月4日 ● 山形大学理学部 臨海実習 11名参加 (～8月6日)
- 8月11日 ● 「だだちゃ豆の日」PRイベント
- 来館者にうちわを無料配布 (～8月18日)
- 8月21日 ● ネーミングライツ・パートナーの募集開始 (～9月16日)
- 8月22日 ● 鹿児島市教育講演会にて講演 (～8月23日)
- 8月24日 ● 長崎県ヘクラゲ採集 (～8月25日)
- 8月28日 ● 南陽市中学校にて講演
- 本マグロの卵巣を使ったカラスミ作りに成功
- 8月31日 ● 第70回 音楽のタベ「中西暁子・片倉真由子 DUO」出演
- 9月1日 ● 大山ハス御膳 販売開始 (～9月30日)
- 9月7日 ● 「アクアリウムは踊らない」コラボ企画 第2弾
- 9月15日 ● ベントス・プランクトン学会へ参加、宮城県ヘクラゲ採集 (～9月12日)
- 9月20日 ● 酒田南高等学校より1名職場体験[レストラン] (～9月21日)
- オンライン学習会「みんなであつこう加茂(の)水族館」
- 9月22日 ● インテグラルクラゲ世界初展示開始
- 9月28日 ● 第71回 音楽のタベ「浜崎航&松本茜 DUO」出演
- スナガニと砂浜環境観察会 8名参加
- 9月30日 ● 長浜バイオ大学にて講演



うちわの無料配布



エコバッグ(クラゲ・アザラシ)販売



クラゲゼリー



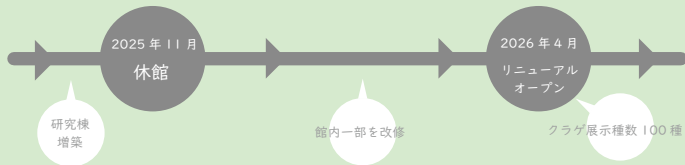
庄内アンデスメロンミニパフェ



鶴岡天神鯉御膳

Information

加茂水族館 は
リニューアルオープン に向けて
2025年11月から2026年3月まで
休館 します



New Item Official Shop

海月灯り おすすめ商品

キャノンボール & ブルーキャノンボール
ぬいぐるみ

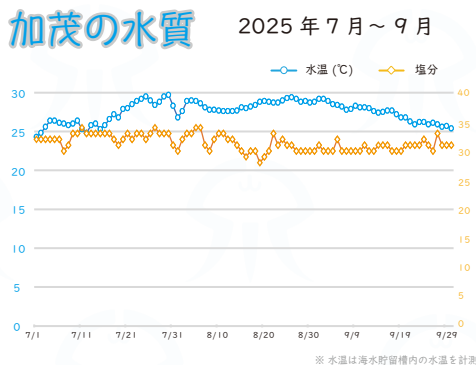
クラゲマニアに人気の2種類のクラゲがリアルなぬいぐるみになりました。クラゲ界の大砲！キャノンボールジェリーとブルーキャノンボールの2種類です。飼育員が細部までこだわり抜いて作りました。さらに、今回は飼育個体ではなく野生個体に近づけて作っています。(池田)

キャノンボールジェリー ブルーキャノンボール
各2500円(税込)

[ぬいぐるみデータ]
傘径/約22cm 傘高/約14cm 口腕/約6cm

加茂水族館公式
つきあかり
海月灯り
オンラインショップ

かもしい オンラインショップで
「飼育員の暴走シリーズ」を
購入できます



磯情報



最大で60cmにもなる魚ですが、20cm程の小型のものは冬も漁港などで手軽に狙うことができる魚です。小さいフーム等を使うため、初心者でも狙いやすいと思います。



冬は脂がのるため旬の時期の一つでもあります。「ウキフカセ釣り」と呼ばれる手法が主流で、寒い冬でも長竿を構える釣り人の姿をちらほら見かけます。

音楽のタベ

開催スケジュール

(2025年10月～2026年2月分)

ふわふわと漂うクラゲと音楽。
癒しの時間をお楽しみください♪

開催日	出演者	開催場所
2025.10.19 Sun.	第72回 宮田まゆみ・坂井紅介	I 加茂水族館 荘銀タクトつるか
2025.11.25 Thu.	第73回 漂流(さすらい) duo ライブ(松本健一・福島久雄)	
2025.12.03 Wed.	第74回 水晶の詠(坂田明・栗田妙子・水谷浩章)	
2026.01.30 Fri.	第75回 高橋徹 TOKYO GROOVIN' HIGH!	
2026.02.20 Fri.	第76回 佐津間 純 若林 美佐 デュオ	

※開催の詳細については水族館HPをご確認ください

※リニューアル工事による閉館に伴い2025年11月以降の開催場所は「荘銀タクトつるか」となります。

かもしい通信 Vol.2 No.3 2025年11月発行(通号6号)

- 発行 鶴岡市立加茂水族館 〒997-1206 山形県鶴岡市今泉字大久保 657-1 / TEL 0235-33-3036 <https://kamo-kurage.jp>
- 編集 玉田亮太
- 動物取扱業に関する表示
代表者氏名: 鶴岡市 市長 皆川治 / 事業所の名称: 鶴岡市立加茂水族館
事業所の住所: 〒997-1206 山形県鶴岡市今泉字大久保 657-1 / 登録に係る第一種動物取扱業の種別: 展示
動物取扱責任者: 吉見則夫 / 登録番号: 庄保 26 展第 1 号 / 登録の年月日: 平成 26 年 5 月 26 日 / 有効期間の末日: 令和 11 年 5 月 25 日



最新情報は SNS をチェック♪

